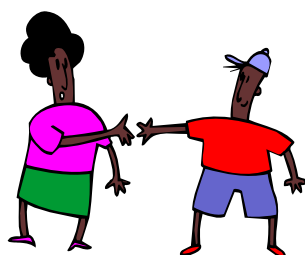


エイズと生きるウガンダ： リーチアウト 写真&子どもの絵 展示会

世界には、HIV/エイズと共に生きる人々が 4200 万人いると言われています。ウガンダだけでも、エイズによって既に 100 万人が亡くなったと言われています。この余りにも圧倒的な数字のために、私たちは、問題のありかをきちんと考えることさえしていないのではないでしょうか。この数字の向こう側にいるのは、皆かけがえの無い存在であることを忘れてはいないでしょうか。それぞれ、責任や欲求、心配、そして夢や希望を持った、ひとりひとりの人間であることを。

Reach Out Mbuya Parish HIV/AIDS Initiative



～Hope For the Future; because I want you to live!～

「リーチアウト ンブヤ地区 HIV/エイズ運動」は、ウガンダの首都カンパラのバラック街ンブヤ地区の住民が、近所に住むエイズ患者を見舞うことから、10 年ほど前に始まりました。2001 年には外国から医師も来ました。2006 年、支援を受ける住人の数は 2000 人近くなり、支援する住民の数も、200 人ほどに増えました。支援する人の6割が、HIV/エイズと共に生きる人々自身です。エイズが流行しているバラック街で、生きる希望・明日への希望をつなぐ枠組みを作り出してきたリーチアウトから、写真と、子どもたちの絵を展示します。

ねがい

偏見でなく洞察を、あわれみでなく友情をください。
私の病気だけでなく、私を見てください。

私と同じ病気の人、この地球上に 4200 万人いる。
毎年、500 万の人が、新しくこの病気に感染している。
毎年、300 万の人が、この病気で亡くなっている。

でも、あなたは、その数字の中の一人としてではなく、
私は、ただ一人の私である。と、知ってください。
私は「HIV 陽性者」である前に、父であり、母であり、息子であり、娘でした。

私には、あなたにあげられるものがあります。
それは、わたしとあなたをつなぐものです。
あなたは、あなたの心を持って、私と出会ってください。

私は、あなたに助けられるのではなく、あなたと助け合って生きたい。

@舎廬夢ヒュッテ レストラン 2007. 7. 1～2007. 8. 31 無料